

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区二番町8番地8

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
代表取締役社長 永松 文彦

事業概要 卸売業_小売業_飲料品小売業

該当する事業者要件

熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)

熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)

特定事業者以外の事業者

計画期間 2022年度～2024年度

事業活動温暖化対策計画書に定めた措置の実施状況

●セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』において、「脱炭素社会」を目指すべき社会の姿として掲げ、店舗運営に伴うCO₂排出量を2013年度対比で2030年までに▲50%、2050年度までに実質ゼロを目標に、省エネ、再生可能エネルギーの利用拡大を進めていく。

●新店、改装店、既存店への省エネ設備の導入、加盟店における省エネの取組促進により、店舗の電気使用量及びCO₂排出量総量の削減に努め、年1%CO₂排出量の削減する。

年度区分	基準年度 (2021)年度	前年度 (2021)年度	計画期間					目標年度 (2024)年度
			(2022)年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
① 排出量 (t-CO ₂)	18122	18122	14811					17578
増減率 (基準年度比)			△ 18.2 %	%	%	%	%	△ 3.0 %
温室効果ガス算定排出量の削減等	森林の整備及び保全 (t-CO ₂)							/
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給 (t-CO ₂)							
	グリーン電力証書又はグリーン熱証書の購入 (t-CO ₂)							
	その他知事が認めるもの (t-CO ₂)							
	② 合計(t-CO ₂)							
① - ②								
差引後排出量 (t-CO ₂)								
差引後増減率(基準年度比)			%	%	%	%	%	
原単位算定排出量等	排出量 (t-CO ₂)							
	増減率 (基準年度比)			%	%	%	%	%
	差引後排出量 (t-CO ₂)							
	差引後増減率(基準年度比)			%	%	%	%	%
	原単位の考え方							

計画の進捗又は達成の状況等 九州電力におけるCO₂排出係数が基準年度に比べ18.9%減少している効果があり、店舗にけるCO₂排出量も大きく減少した。店舗においても従業員への省エネ活動及び設備更新を実施し、1店舗あたりのCO₂排出量の削減に努めている。

特記事項

①各店舗毎に省エネリーダー選任および省エネ対策重点6項目を纏めた省エネ動画の配信

②CSRレポート・ホームページ等での情報発信

③石油由来のプラスチック使用量の削減に取り組むため、お客様に提供するレジ袋はバイオマス素材30%配合環境配慮型のみを推奨

備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。

2 「計画期間」並びに「基準年度」「前年度」「目標年度」及びそれらの排出量は、提出済の事業活動温暖化対策計画書に一致させてください。

3 「計画の進捗又は達成の状況等」欄には、計画期間における排出量削減の進捗の状況及び計画終了時における事業活動温暖化対策計画書に掲げた温室効果ガスの排出の抑制の量に係る目標の達成又は未達成の理由等があれば、記入してください。

4 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。